

旭川市報道依頼

各報道機関 様

令和4年4月6日

発信課	交通防犯課
担当者	西村
連絡先	電 話 0166-25-6215
	F A X 0166-25-9835
	E-mail kotsubohan@city.asahikawa.lg.jp

分 類	<input checked="" type="checkbox"/> イベント・行事 募集 契約・入札 会議・説明会 その他 (該当する分類を囲むこと。)
日 程	4月18日(月)
発表項目 (行事名)	北海道旭川永嶺高等学校交通安全教室の実施について
概 要 (趣旨・日時・ 場所・内容等を 記入すること。)	<p>1 目的 日常的に自転車を利用する機会が多い高校生に対し、自転車運転のマナー向上を呼びかけ、交通安全意識の高揚及び交通事故防止を図る。</p> <p>2 日時 令和4年4月18日(月) 午後2時25分から午後3時15分</p> <p>3 場所 北海道旭川永嶺高等学校体育館(旭川市永山町3丁目)</p> <p>4 内容 交通安全教室実施要領のとおり</p> <p>5 主催・協力 主催：北海道旭川永嶺高等学校 協力：旭川東警察署，北海道クミアイ自動車学校 旭川市消防本部指令課，旭川市防災安全部交通防犯課</p> <p>6 参加者 北海道旭川永嶺高等学校全校生徒713名及び教職員 旭川東警察署交通第一課職員，北海道クミアイ自動車学校講師， 旭川市防災安全部交通防犯課</p>
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 (有・無のいずれかを囲むこと。) ※ 有の場合，資料の内容を記入すること。なお，別途冊子等の配付を希望する場合は，その旨記入すること。
報道(取材)に当たってのお願い	
備 考	

令和4年度 北海道旭川永嶺高等学校交通安全教室 実施要領

1 目的

日常的に自転車を利用する機会が多い高校生に対し、自転車運転のマナー向上を呼びかけ、交通安全意識の高揚及び交通事故防止を図る。

2 日時

令和4年4月18日（月） 午後2時25分～午後3時15分

3 場所

北海道旭川永嶺高等学校 体育館

4 内容

- (1) 開会
- (2) 校長先生挨拶
- (3) 講師紹介
- (4) 実技・講話（内容の詳細は別紙参照）
- (5) 「交通安全宣言」生活常任委員長
- (6) 閉会

5 主催及び協力

主 催：北海道旭川永嶺高等学校

協 力：北海道旭川方面旭川東警察署，北海道クミアイ自動車学校，旭川市防災安全部交通防犯課

6 参加者

旭川永嶺高等学校全校生徒713人及び教職員，旭川東警察署交通第一課職員，北海道クミアイ自動車学校講師，旭川市防災安全部交通防犯課職員

令和4年度 北海道旭川永嶺高等学校交通安全教室 実施内容

1 開 会

2 校長先生挨拶・講師紹介（3分）

3 実験開始

司会・進行：旭川東警察署職員（実験1，2）
北海道クミアイ自動車学校職員（実験3～5）
準備・補助：旭川市防災安全部交通防犯課職員

<実験1> 自転車の危険運転について【実験映像上映】

内 容：①並進の危険性について

一般的な歩道幅で横に並んでいる歩行者の横を，自転車3台が横一列（並進）と縦一列でそれぞれ通り抜け，並進時の危険性，回避行動のしにくさの実験。

②傘差し乗車の危険性について

傘差しで細いコースを走行し不安定さや回避行動のしにくさの実験。

③二人乗り乗車の危険性について

二人乗りで細いコースを走行し不安定さや回避行動のしにくさの実験。

④スマホ操作乗車の危険性について

スマホを操作しながら細いコースを走行し不安定さや回避行動のしにくさの実験。

実験時間：約7分

<実験2> ヘッドホン使用時の危険性について【実験映像上映】

内 容：目隠しをした人が，ヘッドホンをした状態としていない状態で立ち，後方より自動車が徐行で近づいてきた時，気づくまでの距離の実験。

実験時間：約5分

<実験3> 自動車の挙動把握実験【実験映像上映】

内 容：免許を持たない高校生に自動車の動きを把握してもらうための実験。

実験時間：約6分

<実験4> 自転車衝突実験【実験映像上映】

内 容：乗用車を自転車に衝突させ，どの程度の衝撃があるか認識する。

実験時間：約7分

<実験5> 事故に遭遇した場合の対処方法【実験映像上映】

内 容：事故（自転車が乗用車に衝突）を再現し，代表生徒が事故現場に居合わせた設定で，消防119番への訓練通報を交えながら対応について学ぶ。

参加数：2名（携帯電話は市役所で用意）

実験時間：約10分

4 総 括 旭川東警察署（10分）

5 交通安全宣言 生活常任委員長（2分）

6 閉 会